

決算特別委員会環境厚生分科会

R2.9.16 (水) 午前 11 時
9.17 (木) 午前 10 時
9.18 (金) 午後 1 時
場所：第 1 委員会室
全員協議会室 (24 日)

1 開 会

2 事務局日程説明

3 付託議案審査（説明～質疑）

（審査日程：別紙）

※事務事業評価選定項目を除く

- (1) 第 6 号議案 令和元年度亀岡市一般会計決算認定（所管分）
- (2) 第 7 号議案 令和元年度亀岡市国民健康保険事業特別会計決算認定
- (3) 第 8 号議案 令和元年度亀岡市休日診療事業特別会計決算認定
- (4) 第 9 号議案 令和元年度亀岡市介護保険事業特別会計決算認定
- (5) 第 10 号議案 令和元年度亀岡市後期高齢者医療事業特別会計決算認定
- (6) 第 15 号議案 令和元年度亀岡市病院事業会計決算認定

4 現地視察

5 事務事業評価

- (1) 環境保全対策経費
- (2) ごみ減量・資源化等推進事業経費
- (3) 介護予防・日常生活支援総合事業経費（介護保険事業特別会計）
（高齢者介護予防拠点活動支援事業委託料）

6 討論～分科会採決

7 委員長報告の確認

8 その他

事務事業評価表

評価対象事務事業名	環境保全対策経費
委員会論点	○ポイ捨てや不法投棄を防止するために効果的な啓発を行っているか。 ○公害苦情処理件数等の実績に対する具体的な対策は。

★評価は1区分 0～5点の間で採点
(最高評価点: 5点)

区分	No.	評価の視点	評価	委員名							
				大塚	長澤	富谷	平本	三宅	小松	西口	
必要性	1	目的に照らして事業の必要性はどうか。	0								
			35								
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。	0								
			35								
効率性・費用対効果	3	コストは効率的で費用対効果は高いか。	0								
			35								
成果	4	十分成果があらわれているか。	0								
			35								
			0								
			合計	140							

100点換算	評価基準	評価
0	5 きわめて良好である	100点
	4 良好である	76～99点
	3 おおむね適正である	51～75点
	2 課題がある	26～50点
	1 かなり問題がある	1～25点
	0 不適正である	0点

総合評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	総合評価結果	
意見 改善点など			

事務事業評価表

評価対象事務事業名	ごみ減量・資源化等推進事業経費
-----------	-----------------

委員会論点	○プラスチック製容器包装中間処理の状況と課題はどうなっているのか。 ○ゼロエミッション計画に係る事業とは、どのようなことをしているのか。
-------	---

★評価は1区分 0～5点の間で採点
(最高評価点: 5点)

区分	No.	評価の視点	評価	委員名						
				大塚	長澤	富谷	平本	三宅	小松	西口
必要性	1	目的に照らして事業の必要性はどうか。	0							
			35							
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。	0							
			35							
効率性・費用対効果	3	コストは効率的で費用対効果は高いか。	0							
			35							
成果	4	十分成果があらわれているか。	0							
			35							
			0							
			合計	140						

100点換算	評価基準	評価
0	5 きわめて良好である	100点
	4 良好である	76～99点
	3 おおむね適正である	51～75点
	2 課題がある	26～50点
	1 かなり問題がある	1～25点
	0 不適正である	0点

総合評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	総合評価結果	
意見 改善点など			

事務事業評価表

評価対象事務事業名	介護予防・日常生活支援総合事業経費(介護保険事業特別会計) (高齢者介護予防拠点活動支援事業委託料)
-----------	---

委員会論点	○これまでの事業の検証結果と、それを踏まえた今後の事業展開は。
-------	---------------------------------

★評価は1区分 0～5点の間で採点
(最高評価点: 5点)

区分	No.	評価の視点	評価	委員名						
				大塚	長澤	富谷	平本	三宅	小松	西口
必要性	1	目的に照らして事業の必要性はどうか。	0							
			35							
妥当性	2	公的関与の範囲は適切であり、市が行うべき事業であるか。	0							
			35							
効率性・費用対効果	3	コストは効率的で費用対効果は高いか。	0							
			35							
成果	4	十分成果があらわれているか。	0							
			35							
			0							
			140	合計						

100点換算	評価基準	評価
0	5 きわめて良好である	100点
	4 良好である	76～99点
	3 おおむね適正である	51～75点
	2 課題がある	26～50点
	1 かなり問題がある	1～25点
	0 不適正である	0点

総合評価	1 拡充 2 現状維持 3 見直しの上継続 4 見直しの上縮小 5 休止・廃止・終了 6 その他()	総合評価結果	
意見 改善点など			